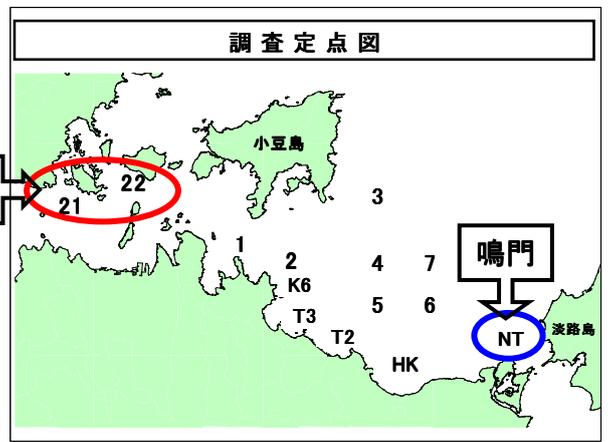


カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2009. 5- 1)

香川県水産試験場 宮川

TEL: 087-843-6511



浅海定線調査結果

調査日: 5月8日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点+鳴門1点(中旬のみ)

【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2006.5.2	0	0	0	2	4	122	5	3	0	0	5	-	-	-	12.8	
2007.5.8	0	6	0	0	22	0	0	6	4	2	19	0	0	-	5.4	4.5
2008.5.2	2	16	4	11	17	6	8	3	1	2	11	0	0	-	7.4	6.2
2009.5.8	84	39	2	9	218	84	4	161	145	36	1	1	1		71.2	60.4

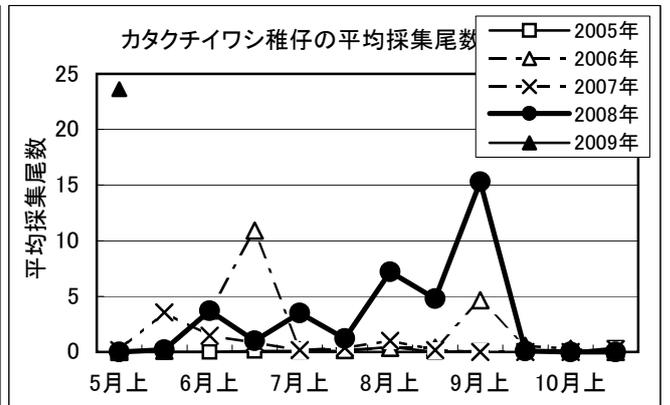
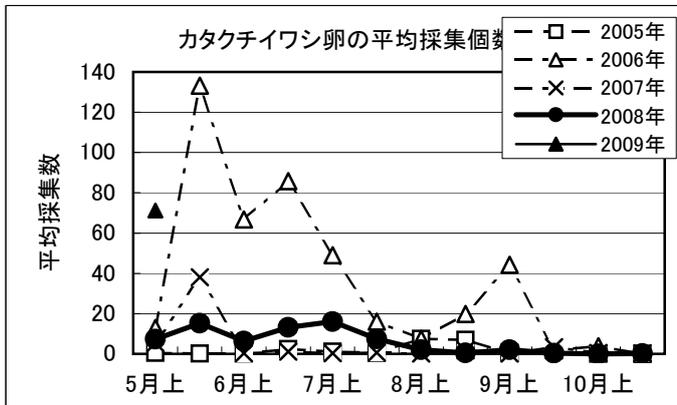
【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2006.5.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0.0	
2007.5.8	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0.2	0.2
2008.5.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0.0	0.0
2009.5.8	14	13	5	12	21	127	30	22	2	7	7	0	0		23.6	20.0

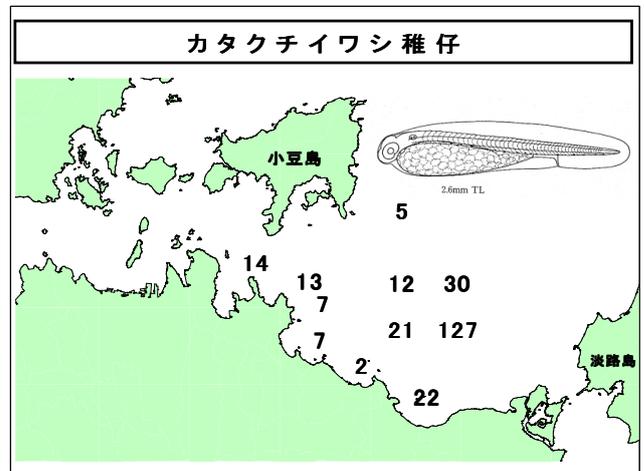
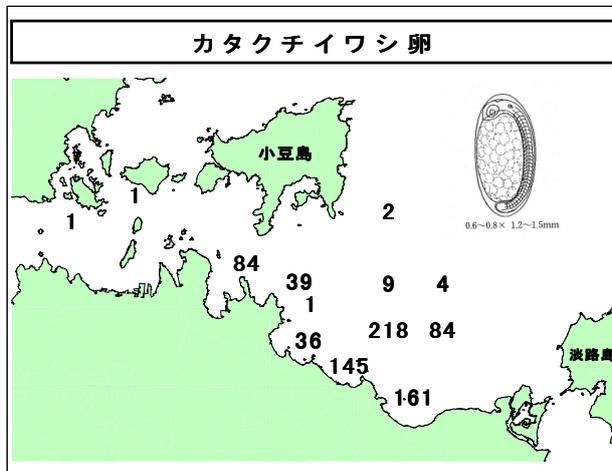
* 表中の「-」は未測定を表す。

* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

* 14点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点+鳴門1点の平均値を表す。



* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



播磨灘11定点における卵の平均出現数は約71個となり、昨年同時期を上回った。卵の出現は全ての定点で認められ、東寄りでの出現が多い傾向を示した。

一方、稚仔の出現は約24尾となり、昨年同時期を上回った。稚仔の出現は大半の定点で認められ、播磨灘で稚仔の出現が多い傾向を示した。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、4月中旬以降の水温は平年を上回って推移している。